



日本臨床発達心理士会 第15回全国大会のご案内

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

会 期	2019年9月28日（土）、29日（日）
会 場	九州産業大学 人間科学部
テーマ	臨床発達心理士の“維新” ～生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイター～
企 画	日本臨床発達心理士会九州・沖縄支部第15回全国大会準備委員会

目 次

第15回全国大会開催のご挨拶……………	2	VII 支部活動報告会（パネル展示）について…	11
I 会期・会場……………	4	VIII 大会プログラム、大会論文集の 配布について……………	11
II タイムテーブル……………	4	IX 大会関係諸費用一覧……………	11
III プログラム……………	5	X 更新ポイントについて……………	11
IV 参加方法について……………	6	XI 大会当日までの諸手続日程……………	12
V 実践研究発表、実践セミナーBの 申込について……………	8	XII 会員交流会（懇親会）について……………	12
筆頭発表者、企画者……………	8	XIII 託児について……………	13
実践研究発表連名発表者、 実践セミナーB連名者……………	9	XIV アクセシビリティについて……………	13
VI 実践研究発表、実践セミナーBの 投稿について……………	9	XV 宿泊予約について……………	13
		連絡・問い合わせについて……………	14
		よくある問い合わせ……………	14

実践研究発表申込み、実践セミナーBの企画申込み締切 5月1日（水）

事前参加申込締切 6月30日（日）

準備や受付の混雑緩和のため、事前申込みにご協力ください。

参加申込み、実践研究発表申込み、実践セミナーBの企画申込みはウェブサイトから

第15回全国大会ページ <https://www.jocdp.jp/other/congress/>

（日本臨床発達心理士会ウェブサイト「第15回全国大会」のページがあります。）

第15回全国大会開催のご挨拶

2019年、新しい元号の元年です。2020年、オリンピック、パラリンピックが東京で開催されます。日本にとって歴史的できごとが相次ぐ中、我々を取り巻く時代は大きな転換を迎えようとしているかもしれません。心理学の世界でも、新たな風が吹いています。昨年、国家資格である公認心理師の試験が初めて実施され、2万7876名が合格を果たしたことが報じられました。

さて、第15回全国大会の企画・運営を、九州・沖縄支部が担当させていただくこととなりました。支部として大変光栄に存じます。とともに、我々臨床発達心理士にとっての節目としての課題の提供を、第15回大会準備委員会が拝命したのだと受け止めました。そこで掲げた大会テーマが「臨床発達心理士の“維新”～生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイター～」です。“維新”には、維持・継承するという意味が込められています。会員の皆さまのこれまでの活動は、生涯発達支援のアクターとして、アレンジャーとして、クリエイターとして、あるいは兼ねるなどして、捉えることが可能ではないでしょうか。今回の大会参加が皆さまにとって、また日本臨床発達心理士会にとって、これまでの社会貢献に誇りを持って活動を維持・継承し、新しい時代に展開・発展させていくことを考える機会になればと願っております。

準備委員会が企画するプログラムでは、基調講演に東京学芸大学の藤野博先生、記念講演に法政大学の渡辺弥生先生、筑波大学の川大川一郎先生をお招きし、それぞれのご研究等から大会テーマに即したお話をいただくこととしました。また、大会最終プログラムとなる公開講演には、赤ちゃんポストの生みの親であり、現在、スタディライフ熊本特別顧問でいらっしゃる田尻由貴子先生にご登壇いただくことになっております。この他、準備委員によるシンポジウム、士会や支部等が企画する実践セミナーAなどが用意されています。大会の特色として期待したいのが、実践研究発表、実践セミナーBです。活発な大会、会員相互およびご自身の深い学びに繋がる機会となりますので、多数の投稿、ご参加をお待ちしております。

九州産業大学人間科学部は昨年4月に開設したばかりの新学部で、会場である3号館も新設の建物でございます。コンパクトではありますが、質の高いプログラム内容とスムーズな移動に対応できる環境をご用意する所存です。さらに、東海大会の取り組みを引き継ぎ、託児やアクセシビリティなどを考慮するなど、すべての会員の方に躊躇なく足を運んでいただけるよう計画を進めています。

会場へは、博多駅、天神駅から乗り換えなしで来場できます。福岡空港から博多駅までは地下鉄で5分です。会場から様々な観光地へのアクセスも良いので、大会参加のこの機会に、学問の神が祀られる太宰府天満宮、世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島などや、九州・沖縄の他県へ足を伸ばしていただいたり、九州・沖縄ならではの海の幸、山の幸、郷土料理もご堪能いただけるかと存じます。

お帰り際には、深い研鑽、たくさんの思い出をお土産にお持ち帰りいただけることを願いつつ、九州・沖縄支部一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2019年2月
一般社団法人 臨床発達心理士会認定運営機構
日本臨床発達心理士会
第15回全国大会準備委員会
委員長 堀内ゆかり

第15回全国大会開催のご挨拶

日本臨床発達心理士会第15回全国大会が、2019年9月28・29日に、九州・沖縄支部のご尽力によって、福岡県で開催されるはこびとなりました。2019年の春には、日本初の心理学をもとに対人援助を行う者の国家資格・公認心理師が誕生します。まさに、私たち臨床発達心理士を含む心理士全体にとっての新しい時代が始まったといっても過言ではないでしょう。こうした新しい時代の幕開けの年に行われる第15回全国大会は、臨床発達心理士の将来においても大きな意味をもつことと思います。

2019年は、また、元号が改まる年でもあります。公認心理師誕生・新元号という大きな節目の年に、九州・沖縄支部が掲げる大会テーマ「臨床発達心理士の“維新”～生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイター～」は、とてもふさわしいものと思います。同時に、日本の明治維新を先導した鹿児島県を含む九州・沖縄地区で、この全国大会が行われることに意義深さを感じます。維新には、維持・継承するという意味が込められているそうです。本全国大会は、臨床発達心理士が目指してきた、生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイターとしての社会的な役割を、振り返り、また、新しい時代の展望を考える好機になることでしょう。

こうした我々の活動を振り返り、将来を考える上で、心理士の資質向上や研鑽機会について考えずにはられません。公認心理師が誕生し社会に貢献できることは喜ばしい限りです。しかし同時に、公認心理師が一度取得すれば、研修などをしなくても生涯持ち続けることのできる資格であるが故に、その質を維持し担保することの難しさも感じます。臨床発達心理士という私たちの団体が学びの場となり、発達臨床心理士や公認心理師の資質向上に役立つことを願わずにはられません。こうした学びの場になるために、今までも長く士会は努力してきましたが、新しい時代の発達心理学を基盤として支援を行う心理士として、今後どのような研鑽を行っていくかを考えなければならぬと思います。こうした視点に立つとき、今回の大会テーマには、また、大きな意味があると思います。将来も社会において、生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイターとなりえるには、どのような力を私たちが今後つけていく必要があるのか、第15回全国大会で臨床発達心理士としての資質向上の新しい方向性を、皆様とともに考えていきたいと思ひます。

最後になりましたが、本全国大会の大会長および大会準備委員会委員長の堀内ゆかり先生、日本臨床発達心理士会九州・沖縄支部の先生方に心より感謝申し上げます。

2019年2月
一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構
日本臨床発達心理士会
幹事長 黒田 美保

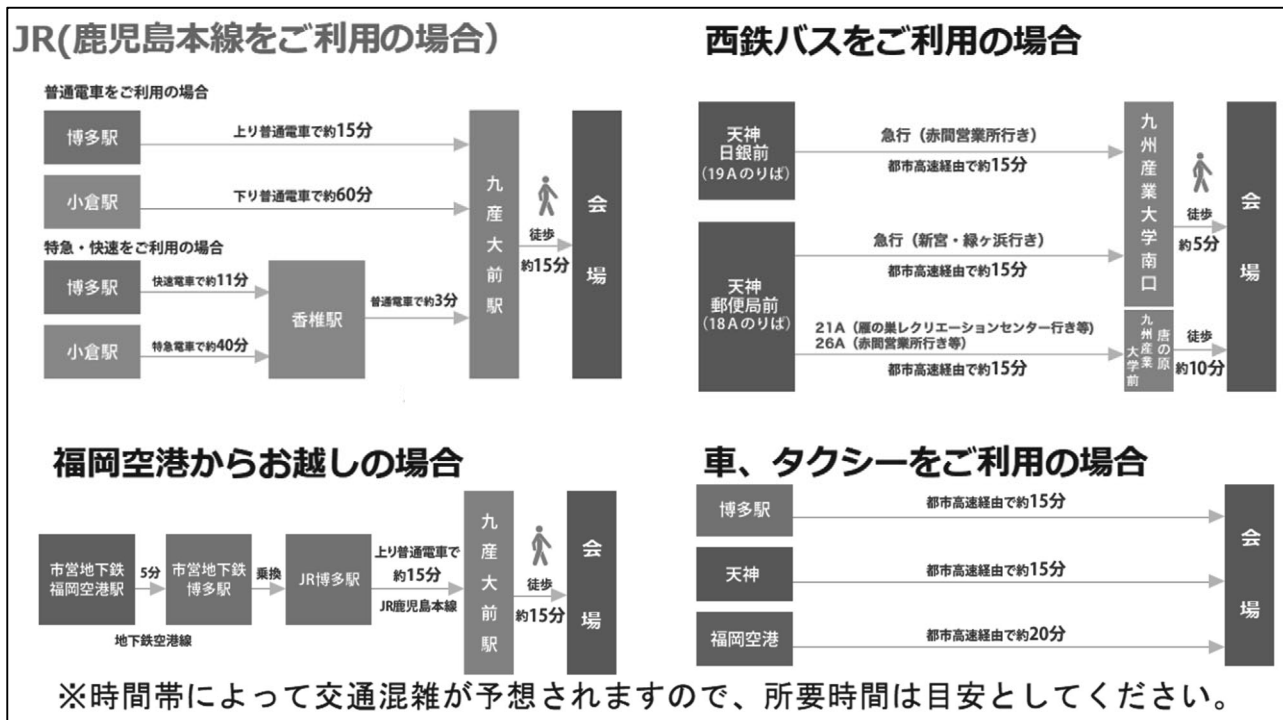
I 会期・会場

【会期】2019年9月28日(土)・29日(日)

【会場】九州産業大学 人間科学部 (3号館)

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1

【交通アクセス】<https://www.kyusan-u.ac.jp/guide/summary/access.html>



II タイムテーブル

【1日目】9月28日(土) 受付 8:30~

9:20~12:40 企画シポジウム (参加ポイント1P)	9:40~11:10 実践セミナー A1・A2 (0.5P)	実践研究 発表1 (0.5P)
	11:30~13:00	
	実践セミナー A3 (0.5P)	実践研究 発表2 (0.5P)
13:10~13:50 スーパーバイザー資格取得 説明会	昼食・休憩	
14:00~15:30 基調講演 (0.5P)	14:10~17:30 倫理研修会 (1P) (休憩 20 分含む)	
16:00~17:30 記念講演 1 (0.5P)	実践セミナー B1 (0.5P)	※2日目と同内容
18:00~20:00 会員交流会 (懇親会)		

【2日目】9月29日(日) 受付 8:30~

9:00~10:30 幹事長講演 (0.5P)	9:10~10:40 実践セミナー A4 (0.5P)	実践研究 発表3 (0.5P)	9:10~12:30 倫理研修会 (1P) (休憩 20分含む)
11:00~12:30 記念講演 2 (0.5P)	11:00~12:30 実践セミナー A5 (0.5P)		※1日目と同内容
12:40~13:00 会員全員集会・次回大会挨拶			
13:10~13:50 SOLTIによる資格更新申請 説明会	昼食・休憩		
14:00~17:20 公開講演(1P) (休憩20分含む)			

Ⅲ プログラム

【1日目】 9月28日(土)

9:20~12:40 企画シンポジウム

「生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイターについて考える」

コーディネーター	堀内 ゆかり 氏 (九州産業大学)
話題提供	尾首 雅亮 氏 (北九州市立総合療育センター西部分所) 鈴木 有美 氏 (福岡女子大学) 田邊 貴仁 氏 (元鹿児島県発達障害者地域支援マネジャー) 山瀬 道代 氏 (熊本県合志市立合志小学校)
指定討論	今林 俊一 氏 (鹿児島大学) 吉田 ゆり 氏 (長崎大学)

13:10~13:50 スーパーバイザー資格取得説明会

14:00~15:30 基調講演「発達臨床の新たな夜明け—神経多様性の包摂に向けて」

藤野 博 氏 (東京学芸大学)

16:00~17:30 記念講演1「ソーシャルエモーショナルラーニングからの支援—社会性と感情を育てる」

渡辺 弥生 氏 (法政大学)

【2日目】 9月29日(日)

9:00~10:30 幹事長講演「心理士の維新の時代をどう生き抜くか~臨床発達心理士と公認心理師~」

黒田 美保 氏 (名古屋学芸大学)

11:00~12:30 記念講演2「展望:高齢者に対する支援...いま、臨床発達心理士に期待されること」

大川 一郎 氏 (筑波大学)

12:40~13:00 会員全員集会・次回大会挨拶

13:10~13:50 SOLTIによる資格更新申請説明会

14:00~17:20 公開講演「24時間 心に寄り添う~赤ちゃんポストから社会を見る~」

田尻 由貴子 氏 (一般社団法人スタディライフ熊本 特別顧問)

実践研究発表

日本臨床発達心理士会の会員が、日頃行っている実践や研究、事例、調査、療育・教育実践などを発表する場です。自分自身の実践を振り返り、同じ実践をしている仲間と意見交換をし、さらに専門的立場からのスーパーバイズを受けるよい機会となります。領域的に近い発表3件を組み合わせたものを1セッションとし、1時間30分で構成されます。

実践セミナー

最新の学問的知見、地域との関わり、新しい研修法など様々なトピックについての実践セミナーを行います。日本臨床発達心理士会、支部等が企画する実践セミナーAと、会員企画の実践セミナーBを募集します。レクチャー方式、シンポジウム方式、ワークショップ方式など様々な形式で行うことを予定しています。会員相互のディスカッションなどが活発になることを期待しています。

〈発表形式〉

実践研究発表、実践セミナーの発表はすべて口頭発表形式です。実践研究発表1件の発表は、発表時間20分と質疑応答・コメント10分の計30分です。使用可能な機器としてWindowsパソコンは各会場に用意いたします。Macパソコンは、外部出力用アダプターを含めご自身でご用意ください。当日配布資料は各自200部ご用意ください(当日、会場での印刷・コピーは原則としてできません)。

IV 参加方法について

1. 事前申込み 期間：2019年3月1日（金）～6月30日（日）

期間内に『オンライン参加登録』と『大会参加費の納入』が必要です。事前申込みは当日参加に比べて3,000円割引となります（事前申込み参加費：10,000円、当日参加費：13,000円）。準備や受付の混雑緩和のため事前申込みにご協力ください。

日本臨床発達心理士会の2019年度および以前の会費が未納の方は、オンライン参加登録システムの登録資格がございませんので、参加登録前に会費の納付を済ませてください。

(1) オンライン登録

- ・第15回全国大会の各種申込みページ <https://www.jocdp.jp/other/congress/> から参加登録システムにアクセスしてください（以下の URL からアクセスできます）。

参加登録システムの URL :

<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/apply/JOCDP>

- ・会員IDとパスワードでログインし、表示される手順に従ってオンライン参加登録を進めてください。申込み後の申込み内容変更、確認も同ページより行えます。

注意：[Step-2：参加申込み情報の入力]まで進みましたら、以下の内容を確認してください。

- *登録種別は申込内容によって異なります。該当する登録種別を選択してください。
- *懇親会に参加する場合は、各登録種別ごと「+懇親会」と書かれた項目がありますので、そちらを選択してください。
- *実践研究発表ならびに実践セミナーBの申込をされる方ならびに連名者は、8ページ以降の「V 実践研究発表、実践セミナーBの申込みについて」を併せてご確認ください。

登録種別	申込内容
大会参加	大会参加申込みのみの方
実践研究発表（筆頭発表者）	発表・企画の申込をされる方 またはその連名者の方
実践研究発表（連名発表者）	
実践セミナーB（企画者）	
実践セミナーB（連名者）	

- ・参加申込みを送信すると、入力されたメールアドレス宛に申込み内容を受信したことを知らせる「仮受付メール」が自動送信されます。本法人のドメイン@jocdp.jpからのメールが受信できるよう設定してください。

（なお、受付完了後の「第15回全国大会参加確認書」もこのメールアドレス宛に送信されます。

7月中旬まで受信可能なメールアドレスでお申込みください。）

- ・「仮受付メール」が届かなかった場合は、申込みが正しく行われていないか、入力したメールアドレスが間違っているため、再度お申込みください。

(2) 大会参加費の納入

振替口座記号番号	: 00150-3-274943
加入者名	: 日本臨床発達心理士会全国大会

- ・大会参加費は、必ず同封の払込取扱票を用いて郵便局窓口または郵便局 ATM より郵便振替にて納入してください。他行からの送金等その他の方法でのお支払は、入金確認が行えないため取り扱えません。
- ・払込取扱票の通信欄ならびに依頼人欄の必要事項を必ず記入してください。記入内容が不足していると、正しく受付が行われません。
- ・懇親会に参加する場合は、大会参加費と合わせて懇親会費も納入してください。懇親会は事前申込みをお願いします。定員を超えていない場合に限り、当日参加のお申込みを受け付けます。（「XII 会員交流会(懇親会)について」参照）
- ・参加申込みをされても参加費の納入がない場合は事前申込みキャンセルとみなします。必ず締切までに納入してください。
- ・納入された費用はいかなる理由（災害、交通事故など不可抗力によるもの）であっても返却はしません。

(3) 受付完了

『オンライン参加登録』と『大会参加費の納入』をもって事前申込み受付完了となり、申込みの際に入力したメールアドレスへ7月中旬までに「第15回全国大会参加確認書」が送信されます。この「第15回全国大会参加確認書」をプリントアウトして、臨床発達心理士証（IDカード）とともに大会当日に持参し、受付に提示してください。「第15回全国大会参加確認書」の再送信は行いませんのでご注意ください。

2. 当日参加

受付にて臨床発達心理士証（IDカード）を提示し、参加登録をして参加費13,000円を現金で納入してください。なお、日本臨床発達心理士会の2019年度および以前の会費が未納の方は、全国大会に参加いただけません。

会場の都合により、事前参加人数の状況を見て当日参加の人数を制限することがあります。あらかじめご了承ください。

※大会参加時の注意※

全国大会では総合受付および各プログラムごとに臨床発達心理士証（IDカード）に印字されているバーコードを読み取り、参加受付をいたします。IDカードを必ずご持参ください。

バーコードの印字がないIDカードをお持ちの方へは、バーコードシールを発行していますが、もしバーコードシールを紛失された場合はウェブサイトをご確認のうえ、再発行の手続きをおこなってください。

3. 託児およびアクセシビリティについて

大会期間中、会員の様々なニーズに応えるため、託児およびアクセシビリティについてサービスを提供いたします。詳細につきましては、「XII 託児について」および「XIV アクセシビリティについて」をご参照ください。

V 実践研究発表、実践セミナーBの申込みについて

筆頭発表者、企画者 期間：2019年3月1日（金）～5月1日（水）

1. 筆頭発表者、企画者の資格

2019年5月1日現在で臨床発達心理士の資格をもち、2019年度までの年会費を納入済みであること。
大会参加申込み、大会参加費の納入を締切までに行っていること。

2. 申込み手続き

実践研究発表筆頭発表者、実践セミナーB企画者の方は、以下の手続きを行ってください。

(1) オンライン参加登録

発表・企画申込みを行う前に、オンライン参加登録を行ってください。オンライン参加登録については「IV 参加方法について 1. (1) オンライン参加登録」をご確認ください。なお、期間が異なりますのでご注意ください。

(2) 実践研究発表・実践セミナーB企画申込み、原稿投稿

・第15回全国大会の各種申込みページ <https://www.jocdp.jp/other/congress/> から参加登録システムにアクセスしてください（以下の URL からアクセスできます）。

発表・企画申込みおよび原稿投稿システムのURL：

<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/public/JOCDP>

- ・会員IDとパスワードでログインし、表示される手順に従って申込みおよび原稿投稿を進めてください。なお、申込みのみ先に行い、原稿投稿は後日行うことも可能です。また、申込み後の申込み内容の変更や確認、投稿原稿の追加や変更も同ページより行えます。
- ・投稿された原稿は、①社会的妥当性を満たし発表することによって社会的貢献に寄与するものであること、②倫理的問題に抵触する記載がないこと、③書式・形式面において実践研究発表の体裁をなしていることの3点から査読した後に、採否結果を6月10日（月）までにメールで通知します。メールは投稿時に登録したアドレスに送信します。
- ・原稿投稿に関しては「VI 実践研究発表、実践セミナー企画の投稿について」も併せてご確認ください。

(3) 大会参加費、実践研究発表・実践セミナー査読費の納入

- ・大会参加費（事前申込み参加費：10,000円）と実践研究発表・実践セミナー査読費4,000円を納入してください。実践研究発表・実践セミナー査読費は、発表・企画に先立って査読するための経費であり、発表・企画が取り消しとなっても、返金はいたしません。懇親会に参加する場合は、懇親会費も合わせて納入してください。懇親会は事前申込みをお願いします。定員を超えていない場合に限り、当日参加のお申込みを受け付けます。（「VII 会員交流会（懇親会）について」参照）
- ・費用は必ず同封の払込取扱票を用いて郵便局窓口または郵便局 ATM より郵便振替にて納入してください。他行からの送金等その他の方法でのお支払は、入金確認が行えないため取り扱えません。
- ・払込取扱票の通信欄ならびに依頼人欄の必要事項を必ず記入してください。記入内容が不足していると正しく受付が行われません。
- ・申込みをされても参加費、発表用査読費・企画費の納入がない場合は申込みキャンセルとみなします。必ず締切までに納入してください。

3. 発表要件

大会論文集への掲載、口頭発表、質疑、時間枠（1時間30分）の在席を満たすことにより正式発表として認められます。筆頭発表者、企画者となれるのは大会期間中1回に限られます。

実践研究発表連名発表者

実践セミナーB連名者（企画者以外の司会者、話題提供者、指定討論者など）

1. 連名発表者、連名者の資格

- ・実践研究発表は筆頭発表者と共同で行ったものであること。
- ・2019年度までの年会費を納入済みであること。
- ・大会参加の事前申込みの手続き（オンライン参加登録と大会参加費の納入）を締切までに行っていること。

※臨床発達心理士会非会員の方は連名発表者、連名者になることはできません。

2. 申込み手続き

大会参加の事前申込みの手続きを6月30日（日）までに行ってください。（「IV 参加方法について 1. 事前申込み」参照）

VI 実践研究発表、実践セミナーBの投稿について

1. 投稿について

- ・第15回全国大会の各種申込みページ <https://www.jocdp.jp/congress/> からシステムにアクセスしてください。（以下のURLからもアクセスできます）。
- 5月1日（水）までに行ってください。

発表・企画申込みおよび原稿投稿システムのURL：

<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/public/JOCDP>

- ・実践研究発表・実践セミナーB申込みの後、原稿の投稿を行ってください。投稿原稿の追加や変更も同ページより行えます。
- ・投稿には、実践研究発表投稿用テンプレート（Word）または実践セミナーB投稿用テンプレート（Word）を、大会ホームページの発表・企画申込みおよび原稿投稿のページよりダウンロードして使用してください。
- ・投稿はファイルのアップロード方式です。事前に原稿ファイルを用意しておいてください。
- ・原稿はA4サイズにWordで作成し、Wordの形式のまま投稿してください。A4サイズのまま印刷されます。
- ・原稿には、ヘッダー、フッター、ページ番号を記載しないでください。
- ・大会論文集はモノクロ印刷となります。
- ・投稿完了後、登録メールアドレスに投稿完了通知メールが自動配信されます。届かない場合は、登録内容に誤りがある場合がありますのでご確認ください。
- ・実践研究発表投稿原稿に、事例の写真や名前、年齢などの個人が特定する情報を載せないように倫理的な配慮を十分に行ってください。
- ・実践研究発表に事例報告を投稿される場合、必ず原稿投稿前に、支援にかかわる人（支援対象者、保護者、所属長、事例に密接にかかわる人、その他関係者）に説明を行い、その了解を得ている旨を原稿中に明記してください。

2. 内容について

(1) 実践研究発表

実践研究としての水準やまとまりを考慮して、目的、方法、結果、考察などを明確に記述してください。事例報告者は事例報告としての水準やまとまりを考慮して事例の中身を明確に記述してください。発表内容を下の書式に従ってA4用紙1枚にまとめてください。

(実践研究発表用書式 A4サイズ1ページ)

(1-2 行目) 題 目	
(3 行目) 発表者氏名	
(4 行目) (所属機関)	
[目的]	
[方法]	[考察]
[結果]	[結論]

「事例については、〇〇の了承を得ている。」等の記述を入れること

(2) 実践セミナーB

1件につき見開き2ページになります。実践研究発表と同様に、題目と、題目の下に企画者、司会者、話題提供者、指定討論者の順に氏名と所属を全角文字で記述してください。本文には、企画趣旨と各話題提供の要旨などを記述してください。

(実践セミナーB用書式 A4サイズ見開き2ページ)

<table border="1"> <tr> <td colspan="2">(1~2 行目) 題 目</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3 行目) 企画者： 氏名 (所属機関)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(4 行目~) 司会者： 氏名 (所属機関)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">話題提供者： 氏名 (所属機関)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">氏名 (所属機関)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">氏名 (所属機関)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">指定討論者： 氏名 (所属機関)</td> </tr> <tr> <td>[企画趣旨]</td> <td>[話題提供の要旨]</td> </tr> </table>	(1~2 行目) 題 目		(3 行目) 企画者： 氏名 (所属機関)		(4 行目~) 司会者： 氏名 (所属機関)		話題提供者： 氏名 (所属機関)		氏名 (所属機関)		氏名 (所属機関)		指定討論者： 氏名 (所属機関)		[企画趣旨]	[話題提供の要旨]	<table border="1"> <tr> <td>[話題提供の要旨]</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[指定討論の要旨]</td> </tr> <tr> <td>[話題提供の趣旨]</td> <td></td> </tr> </table>	[話題提供の要旨]			[指定討論の要旨]	[話題提供の趣旨]	
(1~2 行目) 題 目																							
(3 行目) 企画者： 氏名 (所属機関)																							
(4 行目~) 司会者： 氏名 (所属機関)																							
話題提供者： 氏名 (所属機関)																							
氏名 (所属機関)																							
氏名 (所属機関)																							
指定討論者： 氏名 (所属機関)																							
[企画趣旨]	[話題提供の要旨]																						
[話題提供の要旨]																							
	[指定討論の要旨]																						
[話題提供の趣旨]																							

Ⅶ 支部活動報告会（パネル展示）について

職能問題検討委員会では、日本臨床発達心理士会各支部の活動の現状理解・活性化を進めております。今大会も昨年の全国大会と同様に支部活動報告会を「支部自慢」と銘打っています。独自の地理や自然、特有の文化や歴史をもつ全国の支部に、それぞれ特徴のある活動を報告していただきます。

支部活動報告会は、会員が所属支部以外の支部活動の現状を理解することが目的ですが、支部活動報告会を通して、まずは会員同士の交流を深め、今後さらに支部活動を発展させていく機会にしたいと思っています。

（職能問題検討委員会）

Ⅷ 大会プログラム、大会論文集の配布について

大会プログラムは、すべての会員に7月中旬までに発送する予定です。大会論文集は、事前参加申込みをした方も含めすべて大会当日に受付で配布いたします。

Ⅸ 大会関係諸費用一覧

費目	払込者	金額	備考
大会予約参加費	予約参加者	10,000円	6月30日（日）までに納入 （発表者・企画者は5月1日までに納入）
大会当日参加費	当日参加者	13,000円	当日受付で現金納入
発表用 査読費・企画費	筆頭発表者・企画者	4,000円	5月1日（水）までに納入
懇親会費	懇親会予約参加者	4,000円	6月30日（日）までに納入

Ⅹ 更新ポイントについて

参加者が取得できるポイントは「更新のためのポイント表」改定第6版に該当します。2日間すべてのプログラムに参加すると、資格更新に必須の「一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構および同委員会または日本臨床発達心理士会および同会支部が主催する臨床発達心理士のための資格更新研修会（1区分）の4ポイントが取得できます。

3時間の資格更新研修会 1ポイント
1.5時間以上3時間未満 0.5ポイント

XI 大会当日までの諸手続き日程

※大会参加事前申込みは、オンライン参加登録をしてから、参加費を納入してください。

日程	実践研究発表筆頭発表者 実践セミナーB企画者	大会参加のみ 実践研究発表連名発表者 実践セミナーB連名者	当日参加者
3月1日(金)	「第15回全国大会のご案内」送付(会員全員)、申込み受付開始		
5月1日(水)	大会参加申込み、発表・企画 申込み、原稿投稿、諸費用納 入締切(投稿完了メール送付)		
6月10日(月)	採否連絡		
6月30日(日)		大会参加申込み締切 諸費用納入締切	
8月上旬まで	参加確認書メール送付		
8月上旬まで	「大会プログラム」送付(会員全員)		
9月28日(土) 9月29日(日)	参加確認書をプリントアウトして持参 受付で大会論文集を受け取る		受付で大会論文集を受け取る

XII 会員交流会(懇親会)について

下記のとおり、会員交流会(懇親会)を行います。全国から集まった会員の皆様の交流の場です。おいしい料理と飲み物を用意して、皆様の参加をお待ちしています。

【日時】9月28日(土) 18:00より

【会場】九州産業大学3号館1階ラウンジ

【参加費】4,000円(オンライン参加登録後、参加費とあわせて納入してください。)

大会参加費振込みの際に、払込取扱票の「懇親会参加」に✓をしてください。懇親会参加は事前申込みをお願いします(定員を超えていない場合に限り、当日参加のお申し込みを受け付けます)。また、先着順になりますので、定員に達した場合にはご参加できませんのでご了承ください。定員を超えた場合は参加をお断りさせていただくことがあります。

納入された懇親会費はいかなる理由であっても返金はしませんが、定員を超えて参加をお断りする際は返金いたします。

XIII 託児について

- ・小さなお子様をお持ちの会員を対象に、乳幼児向けに会場内に託児室を設けます。
- ・小学生以上や配慮が必要なお子様の託児をご希望の場合は、第15回全国大会ウェブサイトからご相談ください。
- ・いずれも利用は無料（ただし、交通費、飲食代、保険代などは必要）の予定です。
- ・申し込み方法など詳細は、第15回全国大会の各種申込みページにてお知らせします。

XIV アクセシビリティについて

（1）アクセシビリティ・サービスについて

- ・障害のある会員を対象に、アクセシビリティ・サービスを提供いたします。原則として、障害のあるご本人以外のお申込みはお受けできません。
- ・アクセシビリティ・サービスの提供は、基本的に以下の2点の場合です。
 - ①障害のある方ご自身が発表するプログラム
 - ②障害のある方が参加を希望するプログラム
- ・アクセシビリティ・サービスをご利用いただくにあたっては、サービス担当者の手配や配置などの準備や調整が必要となりますので、6月30日（日）までに、事前のお申込みをお願いいたします。事前にお申込みいただいた方には、担当のコーディネーターよりご連絡申し上げ、順次、サービスの詳細について調整をさせていただきます。また、プログラム公開後および大会当日もアクセシビリティ・サービスのご相談を受け付ける予定ではありますが、可能な限り6月30日（日）までにお申込みをお願いいたします。これ以降のお問い合わせやご相談につきましては、必ずしもご要望にお応えできない場合がありますことをご承知おきください。

（2）アクセシビリティ・ボランティアの募集について

- ・本大会では、障害のある発表者及び参加者に対して様々なアクセシビリティ・サービスの提供を予定しております。支援スキルをお持ちの会員の方に、ご協力をお願いする予定です。
- ・アクセシビリティ・サービスの申込みやアクセシビリティ・ボランティアの申込みは、第15回全国大会ウェブサイトをご覧ください。

XV 宿泊予約について

【宿泊の連絡・問い合わせ先】

日本旅行 名古屋法人営業支店
〒460-0008

名古屋市中区栄2-11-30 セントラルビル1階
TEL:052-232-6710 Fax:052-232-6711

E-mail: nta_mice9@nta.co.jp

（営業時間 平日9:30~17:30 休業日：土日祝日）

- ・9月27日（金）と28日（土）の宿泊を、第15回全国大会ウェブサイトから申し込むことができます。
- ・部屋数に限りがございますので、宿泊予約ご希望の方はお早めにお申し込みください。

連絡・問い合わせについて

【問い合わせ先】

株式会社コムラ「日本臨床発達心理士会第15回全国大会」係

担当：後藤・関谷

E-mail: jacdp2019@kohmura.co.jp

(注意) 例年、大変多くの問い合わせが寄せられ準備作業に影響がでています。

→ 問い合わせの前に、もう一度この案内・第15回全国大会ウェブサイトをよくご確認ください。

よくある問い合わせ

○システムにログインする会員IDとパスワードがわからない。

→ 会員情報管理システム〈SOLTI〉のログイン画面に、「会員IDをお忘れの場合」と「パスワードをお忘れの場合」の手続き方法を掲載しています。以下のURLよりアクセスし、ご確認ください（日本臨床発達心理士会ウェブサイトにはリンクがあります）。なお、会員IDは臨床発達心理士登録番号です。

<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/JOCDP>

○年会費を支払っているかどうかの確認をしたい。

→ 会員情報管理システム〈SOLTI〉にログインし、ご確認ください。

○参加登録システムにアクセスできない。

→ 年会費が未納の場合、参加登録システムにアクセスできません。なお、年会費の納入が反映されるまでには、支払われた日から1週間ほどかかることがあります。

○参加申込みをウェブサイトから行ったが自動返信メールが届かない。

→ 本法人のドメイン @jocdp.jp からのメールが受信できるように設定し、入力したメールアドレスが正しいことを確認のうえ、もう一度申込みをしてください。それでも自動返信メールが届かない場合は、ウェブサイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://www.jocdp.jp/inquiry/>

○参加費を支払ったが、参加確認書のメールがまだ届かない。

→ 7月中旬までにお送りする予定です。

もし、8月に入っても届いていない場合は、ウェブサイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。<https://www.jocdp.jp/inquiry/>

○大会論文集が届かない。

→ 本大会の論文集は、事前申込みの方も含め、大会当日に受付で配布いたします。

○当日参加はできるのか。

→ すべて当日参加は可能ですが、準備、当日の受付の混雑緩和のため事前申込みにご協力ください。やむを得ず当日参加の場合は参加費13,000円をお釣りのないようにご用意ください。

○一般公開のプログラムだけの参加はできるのか。

→ 会員の方は、大会参加費（事前10,000円、当日13,000円）を払って参加していただくことになります。

○領収書がほしい。

→ 事前申込み時の郵便局の払い込み控えをもって領収書とさせていただきます。正式な領収書が必要な場合は、当日、会場の受付で申込んでください。

○座席予約はできないのか。

→ 座席の予約はございません。ご了承願います。